



ICANNチュニジア会議報告

AtLargeの取り組みについて

WSIS, SiteFinder...

2003年11月26日

会津 泉
<izumi@anr.org>



ユーザー関与の必要性への 認識高まる

- WSISでのICANN否定論
 - 政治・ポリシー問題は国際機関 (ITU) で
- 民間ガバナンス = 供給側と需要側の双方の参加が必要
 - そうでなければ、政府が関与・規制
- SiteFinderへの対応
 - ユーザー自身の声が必要
 - ALAC、最初に声明を発表



ALAC、PDP(Policy Development Process)への関与開始

- ワイルドカードサービスへの声明発表
- 新gTLDsへの声明
- WHOISへの声明
- Task Force, WGへの参加
 - President committee on WHOIS
 - Privacy
 - Redemption Grace Period Task Force
 - WIPO2



サイトファインダーについて ユーザーの視点で意見表明

- 9月15日:ベリサインサービス開始
- 9月16日:ALAC声明①
 - コミュニティの一員として懸念を表明
 - エンドツーエンドの原理に外れる
 - サービス停止を要求
- 9月19日:ICANN「サービス停止」要求
- 9月21日:ベリサイン、ICANNに反論
- 10月3日:ICANN、停止しないと法的措置と警告
- 10月3日:ベリサイン、サービス停止
- 10月13日:ALAC声明②
 - ユーザーの選択の権利の確保を
 - イノベーションは、中央ではなく、エッジで
- チュニジアでワークショップを共催



9月16日ALAC声明①(要約)

サイトファインダーについてICANNの**注意を喚起**したい。存在しないドメイン名検索に対してベリサインの検索サービスを提供することは、**技術的に大きな懸念**がある。DNSプロトコルの標準エラー処理をHTTPだけに特化して処理することは問題で、インターネットの安定性は増進しない。ベリサイン社が、インターネットのデザインを無視して個別サービスレベルで対処することでも問題は解決しない。

このサービスはユーザー側のコンピューターのアプリケーションの利用で起きたエラー処理の決定をレジストリーに委ねることになる。これは**ユーザー側がどのようなエラー処理をするか、市場の競争の中から自分たちのニーズに適した製品を選択する機会**の損失を意味する。ソフトウェアメーカーも、ユーザーニーズに最適なツールを開発する革新の機会を失うことを意味する。

私たちは、ICANNに対して、この「サービス」を停止させるために必要な手段を取ることを強く求める。



10月13日ALAC声明② (要約)

サイトファインダーの停止は、グローバルなインターネットユーザーに事前に何の相談や通知もなく強制したからだけでなく、インターネットのエンド・ツー・エンドのアーキテクチャーを破壊し、1社に中央の独占的コントロールを与えたからだ。ベリサイン社にURLのエラー処理の排他的中央コントロールを与え、ネットのエッジの部分でのユーザーとアプリケーションにその選択を押し付けたのだ。問題は、**ユーザーが自分たちのニーズに最適のサービスを選択**するのか、ベリサイン社がその選択をユーザーから奪い、ベリサイン社の企業利益に最適な選択を強制するかだ。

サイトファインダーはウェブだけではなく、ネット上で動く他の多くのアプリケーションにも影響を及ぼす。ネットワークは新しいプロトコルやアプリにオープンに維持されるか、ベリサイン社がどのアプリケーションをサポートするかを決めるか、だ。サイトファインダーをネットの中心から排除し、**ネットのエッジ**での新しいプロトコルやサービス、機能を追加することは、**新しいイノベーションを可能とする**最大限の柔軟性をもたらす。ベリサイン社が考えるべきなのは、広告モデルに支えられたサーチを、そこならユーザーが自分たちの意思でそれを利用するかしないか決められる、ネットのエッジ部分のオプションとして再び実装するかしないかだ。

ALAC, WSIS ワークショップ開催

- 関心は高まってきた



2003/11/26

ICANNチュニジア会議 AtLarge



WSIS(世界情報社会サミット)とICANN

- WSIS:国連主催のサミット
 - 03年12月 ジュネーブ
 - 05年11月 チュニジア
- 「宣言案」と「行動計画」を策定
- なぜサミット？
 - 開発とICT(デジタルデバイドをどうする?)
 - ICTの社会的影響の深化・拡大
 - 国連の使命、改革...

WSIS準備会合風景(7月パリ)

- 国連型会議: 票決せず、全会一致が原則



市民社会も
オブザーバー参加



2003/11/26

ICANNチュニジア会議 AtLarge



WSISで ICANNが最大の焦点に

- ネットガバナンスの象徴に
- 政府間で議論に
 - 国際組織か、政府間組織か
- 途上国側の不満
 - 中国、南ア、ブラジル、エジプト…
 - アメリカが大枠を決めている（ルートサーバー）
- ITUの影、、、
- 市民社会にもICANN批判の底流

宣言案 9月当初案

42. 公共政策に関連し、国際的な性質をもつインターネットの諸問題は

- a) 政府および他の関心ある主体間で
- b) 国連の枠組みの下にある適切な政府間組織を通じて / によって
- c) 適切な政府間ベースで
- d) 国際機関を通じて / によって
- e) 適切で互いに合意された国際機関を通じて調整されなければならない。

42. [Internet issues of an international nature related to public policies should be coordinated

Alternatives:

- a) between governments and other interested parties.
- b) through/by appropriate intergovernmental organizations under the UN framework.
- c) as appropriate on an intergovernmental basis.
- d) through/by appropriate international organizations.
- e) through appropriate and mutually agreed international organizations.]



会議は踊る、、

PrepCom3(ジュネーブ 9月15-26日)

a:アメリカ (aのみ) オーストラリア メキシコ

a or d: EU ノルウェー セネガル

b: マリ モーリシャス 中国 ウガンダ ブラジル
サウジアラビア ジンバブエ

d:カナダ 日本

- 先進国と途上国の対立:
「カンクン化」? *Cancunization*?
- 途上国側の不満・結束



WGチェアが冒頭提案!で紛糾

- f) The Internet has evolved into a global public infrastructure and its governance should constitute a core issues of Information Society agenda. As a consequence, there of
- 1) Call on the **secretary general of ITU**, in his capacity of HLSOC, in collaboration with relevant international organizations, to establish and coordinate a **task force to investigate and make proposal** on the governance of Internet by 2005, addressing the following:
 - i) A universally representative solution on the international management of Internet resources, including but not limited to root servers, domain names, and Internet Protocol address assignment.
 - ii) Preliminary work toward the establishment of **regional root-servers**.
 - iii) Development and deployment of a broad-based **multilingual domain and host name solution** that is compatible with the current DNS architecture,
 - iv) **Coordination and implementation of the multilingual domain name strategy with country code registry** interested in implementing multilingual domain name capabilities in their top level domain names.
 - 2) **Governments** are encouraged to
 - i) Establish national and regional **Internet Exchange Centers**
 - ii) **Manage** their respective country code top level domain name (**ccTLD**)
 - iii) Promote awareness on the use of the Internet



アメリカが対抗提案（翌日）

A **private sector** led body should undertake the international management of the Internet with governments serving in an **advisory** capacity with respect to limited public policy issues.

The policy making processes for both the technical and public policy aspects of Internet governance should be open and transparent, developed through a bottom up policy making process which takes full account of the needs and views of the global Internet community.

Government cooperation and coordination with respect to international Internet related public policy issues should be done on an ad hoc basis and **not** through the current intergovernmental structure of the International Telecommunication Union (**ITU**).



WSIS 議論は続く、、、

- 第4回準備委員会(11月10-14日)でもまとまらず
- 追加会合 12月5-6日
- サミット本会合 12月10-12日 ジュネーブ
- 2005年 チュニジアでWSIS フェーズ2
 - 2004年から PrepComプロセス？
 - 別にタスクフォース？



アジアのRALOへ

- 日本とアジアでの組織化が必要
 - ユーザーと政府・産業界と共通の利益を踏まえて
- 日本でのALS
 - まだ一件も申請なし
 - 基本: 個別の取り組み
 - 連絡調整が必要?



アジアでALをどうつくるか

- ALSの立ち上げが先決
 - 既存のグループ: ISOC支部、ユーザーグループ...
 - 新規グループ? : JAPAN ICANN Forum再構成?
- RALOの形成へ
 - 2カ国以上、3団体以上のALSで構成、ICANNとMoU
- 資金はどうするの?
 - 現在はボランティア、、とても続かない!
- なぜALに参加する必要があるの?



AtLarge活動への
ご支援、よろしく申し上げます

会津 泉

アジアネットワーク研究所

国際大学GLOCOM

<izumi@anr.org>

